平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場会社名　古林紙工株式会社　　上場取引所　大
コード番号　3944　URL　http://www.furubayashi-shiko.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 古林敬碩
問合せ先責任者 (役職名) 取締役国内グループ統括経理部長　(氏名) 宮崎明雄　TEL 06-6941-8561

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,914	△2.6	92	△42.4	51	△52.7	26	△54.9
23年3月期第1四半期	4,018	△3.0	160	13.9	107	15.6	58	18.8

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　115百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△42百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1.57	―
23年3月期第1四半期	3.56	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	14,840	4,893	27.7
23年3月期	14,330	4,826	28.4

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　4,109百万円　23年3月期　4,074百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	2.50	―	2.50	5.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		2.50	―	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,700	△4.0	250	△13.8	160	△26.3	100	6.4	6.17
通期	15,000	△3.1	450	0.9	250	△16.1	100	△17.4	6.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	17,768,203 株	23年3月期	17,768,203 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,031,686 株	23年3月期	2,031,128 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	15,736,517 株	23年3月期1Q	15,738,291 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 2
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による罹災の影響があらゆる産業や国民生活の極めて広範に及んでいることから、消費者意識は節約志向のほか自粛の動きも加わり、夏場へ向けた電力供給の制約や原発事故対応の長期化等、景気の先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

パッケージ業界におきましても、内需を中心とした自立的回復が切望されるものの、震災による消費マインドの冷え込みで包材需要は一段と落ち込む等、事業環境は大変厳しい状況にあります。

このような中、当社グループは、「包装を通じて社会に奉仕します」の社是に則り、得意先への取引深耕に努める一方、商品企画および生産技術の向上をはかり、顧客の信認を得て市場でのシェア拡大に努めてまいりました。

その結果、売上高は 3,914百万円(対前年同期比2.6%減)、営業利益は 92百万円(対前年同期比42.4%減)、経常利益は 51百万円(対前年同期比52.7%減)、四半期純利益は 26百万円(対前年同期比54.9%減)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ 509百万円増加し 14,840百万円となりました。これは、主に流動資産の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ 442百万円増加し 9,947百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金 246百万円の増加、長期借入金 147百万円の増加等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ 67百万円増加し 4,893百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞や夏場の電力不足問題等により、依然として不透明な状況が続くものと思われますが、当社グループは、受注環境が厳しい中にあっても利益が確保できるよう、生産技術の更なる向上と徹底したコスト切り下げに努め、初期の目標を達成する所存であります。

このような状況を踏まえ、平成23年５月13日に公表しました連結業績予想から変更しておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（追加情報）

当第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月4日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	983	1,079
受取手形及び売掛金	3,798	4,039
商品及び製品	715	769
仕掛品	319	333
原材料及び貯蔵品	258	350
その他	459	493
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	6,520	7,052
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	2,142	2,108
土地	1,689	1,689
その他（純額）	1,569	1,581
有形固定資産合計	5,400	5,377
無形固定資産	72	73
投資その他の資産		
投資有価証券	1,357	1,368
その他	991	979
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,331	2,331
固定資産合計	7,803	7,780
繰延資産		
社債発行費	7	7
繰延資産合計	7	7
資産合計	14,330	14,840

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,182	3,429
短期借入金	1,839	1,820
1年内返済予定の長期借入金	799	819
未払法人税等	45	31
賞与引当金	2	24
その他	902	968
流動負債合計	6,769	7,090
固定負債		
社債	700	700
長期借入金	1,441	1,587
退職給付引当金	416	415
役員退職慰労引当金	146	123
資産除去債務	3	3
その他	30	28
固定負債合計	2,735	2,857
負債合計	9,504	9,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,151	2,151
資本剰余金	1,383	1,383
利益剰余金	1,029	1,007
自己株式	△238	△238
株主資本合計	4,325	4,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△129	△118
為替換算調整勘定	△123	△76
その他の包括利益累計額合計	△251	△194
少数株主持分	752	784
純資産合計	4,826	4,893
負債純資産合計	14,330	14,840

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	4,018	3,914
売上原価	3,327	3,267
売上総利益	691	647
販売費及び一般管理費	532	554
営業利益	160	92
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	3	2
その他	6	7
営業外収益合計	12	10
営業外費用		
支払利息	19	18
為替差損	10	8
その他	35	25
営業外費用合計	64	52
経常利益	107	51
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1	－
特別損失合計	1	－
税金等調整前四半期純利益	106	51
法人税等	34	16
少数株主損益調整前四半期純利益	72	35
少数株主利益	14	8
四半期純利益	58	26

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	72	35
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△141	11
為替換算調整勘定	27	69
その他の包括利益合計	△114	81
四半期包括利益	△42	115
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△65	83
少数株主に係る四半期包括利益	23	32

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	日本	中国	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,443	575	4,018
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	216	216
計	3,443	792	4,235
セグメント利益	118	88	207

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	207
セグメント間取引消去	10
その他の調整額	△57
四半期連結損益計算書の営業利益	160

（注）　その他の調整額は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	日本	中国	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,230	684	3,914
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	137	137
計	3,230	820	4,050
セグメント利益	85	60	144

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	144
セグメント間取引消去	11
その他の調整額	△63
四半期連結損益計算書の営業利益	92

（注）　その他の調整額は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。